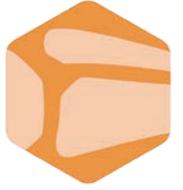


Prima Hip Screw System

 **ORTHO**
DEVELOPMENT®



ご使用前に、必ず添付文書をお読み下さい。

 **日本エム・ディ・エム**
JAPAN MEDICAL DYNAMIC MARKETING



Prima Hip Screw System

for Multiple-pinning

Design Concept

Multiple-pinning に対応可能なサイズで、バレルタイプ スクリューを実現しました。



Screw Design

6.5mm 径のスクリー先端は、谷径を 4-5mm テーパーにすることで骨頭内での把持力を向上しています。

Barrel Design

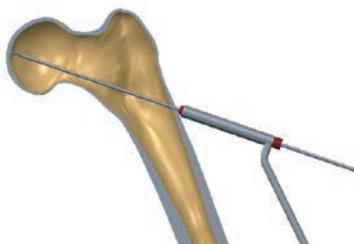
- コンパクトなバレル径は、外側部でのインプラントボリュームを抑え Multiple-pinning による回旋固定性の向上が可能になりました。
- スレッド付きバレルデザインは、テレスコープによるスクリーの外側突出を抑制することが可能になりました。

Screw Head

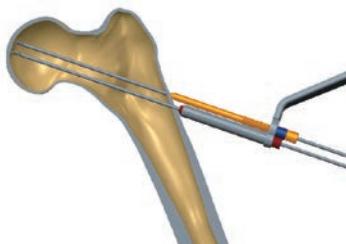
コンパクトなスクリーヘッド形状は、外側の突出量を低減しています。

Instruments

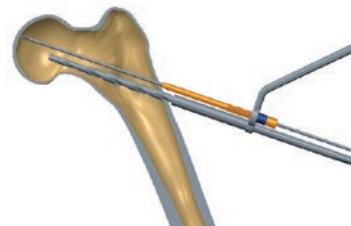
- シンプルで扱い易い器械（直感的な操作が可能）。
- 手技に応じた器械の設定。



シングルガイド
(ガイドピン/ドリル)

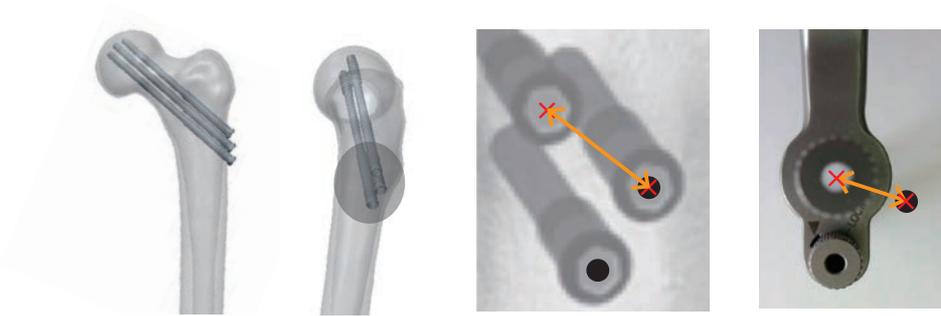


パラレルガイド
(ガイドピン基準)



パラレルガイド
(ドリル基準)

Parallel Guide : for Multiple-pinning



近接するガイドピンとの距離を目安として確認できる先端形状。



Barrel Length

一定のスクリーサイズで、バレル長を変えることで降伏強度を維持しています。

Screw Size	Barrel Length
60-70mm	28mm
75-85mm	38mm
90-100mm	43mm
105-110mm	53mm
115-120mm	63mm

Slide Length

※スクリーを全長で使用した場合の数値になります。

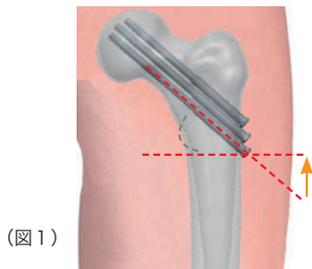
Screw Size	Telescope Length
60-70mm	10mm
75-120mm	15mm

Surgical Technique

1. 皮切

最遠位のスクリュー刺入位置が小転子下端よりも下からの刺入にならないことを確認します。

適切な最遠位スクリュー刺入の位置の延長線上から近位側に小皮切を加えます。(図1)



(図1)

2. ガイドピン刺入

患肢の大きさや、手技に応じガイドピンを2～3本を設置します。

○ 1本目

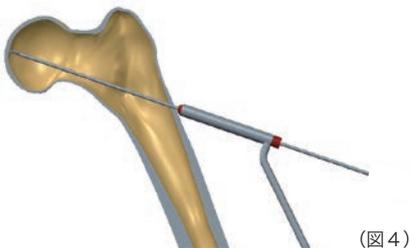
シングルガイド (外筒) にガイドピンスリーブ (内筒) をセットし (図2)、右に回しロックします。(図3)



組み立てた、シングルガイド (外筒) とガイドピンスリーブ (内筒) を使用して、一番遠位のスクリュー設置位置にガイドピンを刺入します。(図4)

【Note !!】

挿入深度は、軟骨下骨の5mm以内が推奨されます。
使用するガイドピンは、9インチと12インチがあります。
最初に使用するガイドピンは9インチをご使用することをお勧めします。



(図4)

○ 2本目以降

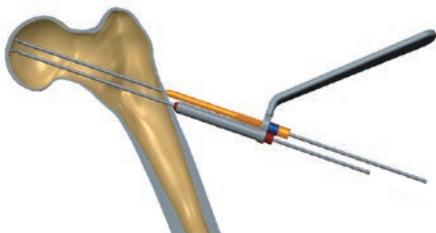
適切な間隔の平行ガイド (間隔: 8mm、10mm、12mm) を選択し、ガイドピンスリーブをセットし、右に回しロックします。

必要に応じて、サブスリーブの長さを調整し固定します。(図5)

1本目のガイドピン越しに、スリーブを通しサブスリーブから2本目のガイドピンを刺入します。(図6)



(図5)



(図6)

【Note !!】

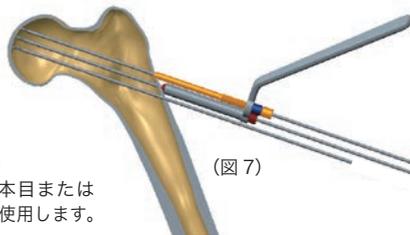
3本目のガイドピン刺入の際は、1本目または2本目のガイドピンを基準として使用します。
その際は、近接するガイドピンとの距離が近過ぎるとスクリューヘッドが干渉する可能性があります。

○ 3本目

適切な間隔の平行ガイド (間隔: 10-18mm) を選択し、ガイドピンスリーブをセットし、右に回しロックします。

必要に応じて、サブスリーブの長さを調整し固定します。(図5)

3本目のガイドピン刺入は、1本目または2本目のガイドピンを基準として使用します。(図7)



(図7)

【Note !!】

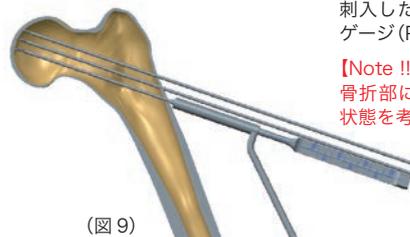
近接するガイドピンとの距離が近過ぎるとスクリューヘッドが干渉する可能性があります。近接するガイドピンがサブスリーブのベース部に接触した時点でそれ以上寄せることは避けてください。(図8)



(図8)

3. ガイドピン計測

刺入したガイドピンをガイドピンデプスゲージ (PHS) を用いて計測します。(図9)



(図9)

【Note !!】

骨折部に圧迫が必要な場合は、骨折部の状態を考慮した短いサイズを選択します。

- ・9インチ : 尾端部
- ・12インチ : ライン部で計測します。

4. ドリリング

ドリルは、

- A). ステップドリル (short) : バレル全長ドリリング、
- B). ステップドリル (long) : スクリュー全長ドリリングの2種類のドリリングを選択できます。

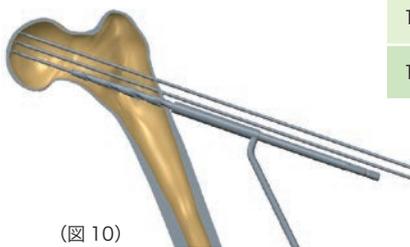
A). ステップドリル (short) : バレル全長

ステップドリル (short) には本体に「short」の印字があり、目盛りがバレル全長毎のスクリューサイズを記載しています。(表1参照)

ドリルガイド越しに、使用するスクリューサイズの目盛りまでドリリングすることで必要なバレルの長さをドリリングします。(図10)

Screw Size	Barrel Length
60-70mm	28mm
75-85mm	38mm
90-100mm	43mm
105-110mm	53mm
115-120mm	63mm

(表1)



(図10)

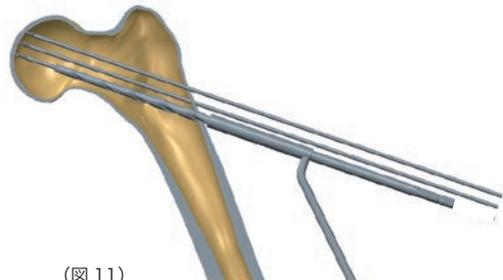
【Note !!】

ドリリングの際は、透視 (イメージ) を用いて、ガイドピンとドリルの先端を確認します。

B). ステップドリル (long) : スクリュー全長

ステップドリル (long) には 本体に「long」の印字があり、目盛りは、スクリュー全長毎のサイズを記載しています。

ドリルガイド越しに、使用するスクリューサイズの目盛りまでドリリングすることでスクリュー設置位置までドリリングします。(図11)



(図11)

【Note !!】

ドリリングの際は、透視 (イメージ) を用いて、ガイドピンとドリルの先端を確認します。

5. タップ (option)

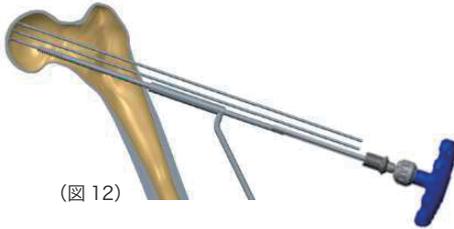
必要に応じて、スクリュー挿入前にスクリューおよびバレルのスレッド部のタップをします。

タップには、
A). スクリュー用、
B). バレル用
の2種類があります。

A). スクリュー用タップ

スクリュータップには、本体にスクリュー全長毎の目盛りを記載しています。

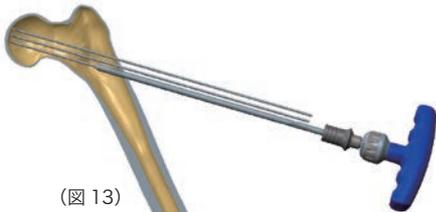
ドリルガイド越しに、使用するスクリューサイズの見盛りまでタッピングすることでスクリュー設置位置までのタップが可能です。(図12)



(図12)

B). バレル用タップ

バレル用タップは、先端部のパイロットに沿って挿入し外側皮質のタッピングを行います。(図13)



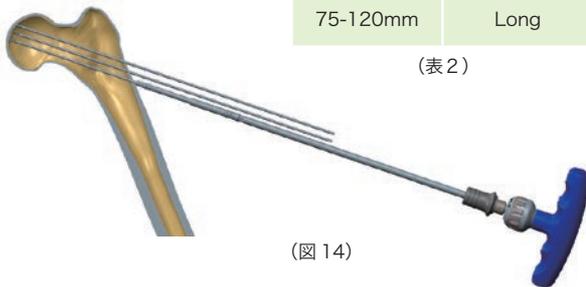
(図13)

6. スクリュー挿入

選択したスクリューサイズに応じた(表2参照)、スクリュードライバー(short)またはスクリュードライバー(long)とTハンドルを接続し、Tハンドルのラチェットを「forward」にして、スクリューを挿入します。(図14)

Screw Size	Driver Size
60-70mm	Short
75-120mm	Long

(表2)



(図14)

【Note !!】

ドライバー先端には、スクリュー用とバレル用に2段の六角があります。それぞれを合わせてからスクリューを挿入します。(図15)

- ①スクリューの六角を合わせます。
- ②バレルの六角を合わせます。



(図15)

7. コンプレッション (option)

必要に応じて、骨折部にコンプレッション(圧迫)を掛けます。バレルホルダーをバレルの六角に合わせて、スクリュードライバーとTハンドルを組み合わせます。バレルホルダーでバレルの回転を抑え、スクリューを右に回し骨折部にコンプレッション(圧迫)を掛けます。(図16)



(図16)

【Note !!】

コンプレッションを掛ける際は、必ずイメージ(透視)を用いて、スクリュー先端が骨頭を穿孔しないことを確認してください。また、穿孔の可能性がある場合は、それ以上のコンプレッションを止めるか、1サイズ短いスクリューと交換することをお勧めします。

8. 閉創

創の十分な洗浄を行い、通常の方法で縫合を行います。

OPTION (ドリル基準)

【Point】

1本目のガイドピンの挿入後にドリルを使用、留置して2~3本目のガイドピンの基準として使用することが可能です。



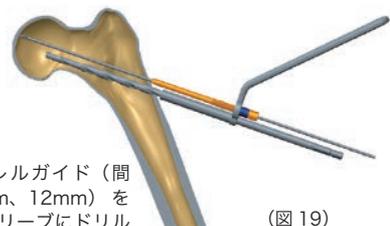
1本目のガイドピンを挿入後、計測します。(図17)

(図17)



ステップドリル(short)または(long)を用いて、ドリルし留置します。(図18)

(図18)



適切な幅の平行ガイド(間隔:8mm、10mm、12mm)を用いて、ドリルスリーブにドリルを通し、2本目のガイドピンを挿入します。(図19)

(図19)



Prima Hip Screw System

Implant List



スクリューの長さはヘッド下の有効長での表記となります。

製品番号	製品名	規 格
180-0XXX	プリマヒップ スクリュー	XXX : 065-115mm (5mm 毎) 20mm スレッド

※オプションサイズに関しては、営業担当者へお問い合わせください。

【MDMホームページ:医療従事者ページQRコード】



カタログデータは、MDMホームページ >医療従事者ページ
>製品情報 からご確認いただけます。

器械説明等の【動画コンテンツ】も順次追加しておりますので、
併せてご確認ください。

なお、弊社ホームページ閲覧の際には、
アカウント情報のご登録が必要となりますので、ご了承ください。

販 売 名 プリマ ヒップ スクリュー システム
ガイドワイヤー (滅菌済)
プリマヒップスクリュー システム インストゥルメント

承認番号 22300BZX00471000
認証番号 226ADBZX00170000
届出番号 13B1X00213SETT07

※本カタログ記載の仕様・形状は、改良等の理由により予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

製造販売元



JAPAN MEDICAL DYNAMIC MARKETING

〒162-0066 東京都新宿区市谷台町12-2

TEL:03-3341-6545

FAX:03-3341-6752

URL:https://www.jmdm.co.jp

製造販売業許可番号:13B1X00213

製造元



ORTHODEVELOPMENT®

